

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（国語）】

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<input type="checkbox"/> 教育基本法第2条に示されている「幅広い知識と教養を身に付け」ることに関連して、情報やメディアリテラシー、食育、安全防災などの分野から教材が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、学年冒頭に「国語の学習を進めよう」「国語ノートの作り方」といった教材が配置されている。 <input type="checkbox"/> 学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得させる」ことに関連して、「言葉の力」「言葉の力のまとめ」で、日常生活での言葉の使い手を意識した教材が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 学習指導要領の教育内容の主な改善事項「道徳教育の充実」に関連して、互いの考えや意見を理解し合い、共に生きていこうとする心情を育てる教材が取り上げられている。		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<input type="checkbox"/> 「思いやる力」に関連して、いのちの大切さや生命の尊厳について考える「海のいのち」といった教材が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」に関連して、自分たちの住むまちを調査したり、町づくりについて提案したりする「町の幸福論」といった教材が取り上げられている。		
内 容	<input type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組めるように、2学年以上の各学年の冒頭に見開きページで「国語の学習を進めよう」が設けられている。 <input type="checkbox"/> 「話すこと・聞くこと」では、目的に応じて主体的に話す力・聞く力を身に付けさせるため、発達の段階を考えた教材が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 「書くこと」では、「目的に応じて何をどのように書くのか」を示し、さまざまな文章を書く教材を取り上げ、特に創作の活動を重視し、各学年で「物語」「詩」を書く単元が設けられている。 <input type="checkbox"/> 「読むこと」では、読みを深めるために関連する本を複数読んだり、比べながら読んだりし、感想交流や作品の良さをまとめる活動を設定した教材を取り上げて、単元の「ねらい」に即した「学習課題」が設けられている。 <input type="checkbox"/> 伝統的な言語文化に親しむことをねらいとした「日本の言の葉」という単元を各学年に設け、古典、神話や伝承、ことわざ、名言名句等の我が国を代表する作品を取り上げている。 <input type="checkbox"/> 神奈川県に関することとして、よこはま動物園ズーラシア園長であった増井光子氏の「動物の体と気候」が掲載されている。		
構 成 分 量 装 丁	<input type="checkbox"/> 4年までは上下巻の分冊、5年以降は1冊の合冊で編集されている。 <input type="checkbox"/> 各学年の配当時数に照らし合わせて、目標と内容をもれなく扱えるように教材を選定し、内容が構成されている。 <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン書体を使用するとともに、「再生紙・植物油インキを使用しています。」と表示されている。		
表記・表現	<input type="checkbox"/> 詩や短歌・俳句については原作のままの表記とし、未履修漢字にはふりがなが付けられている。 <input type="checkbox"/> 発達の段階を考慮し、過度に高度な表現を避けた表現が用いられている。		

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（国語）】

発行者の略称	学図	書名	みんなと学ぶ 小学校国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>□教育基本法第2条に示されている「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に関連して、自然や環境などを中心とした社会的な問題を扱った教材が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、話題が広がり、意欲を高め、授業が交流の場となる単元が設けられている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、学習者の自発的な学びを促すことをねらい、演習学習材や資料コーナーなどが設けられている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「言語活動の充実」に関連して、単元に設定した目標に沿い、「しっかり読んで、しっかり考える」活用する力の定着を目指す「てびき」が取り上げられている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>□「思いやる力」に関連して、福祉や人権に関心を持ち思いやる心を育むことにつながるような点字を扱った「さわっておどろく」といった教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、異なる習慣や文化を持つ人との共生を図るために、外国の民話などの「フリードルとテレジンの小さな画家たち」といった教材が取り上げられている。</p>		
内 容	<p>□1年上巻入門期は、学校生活で初めて出会う「言葉」に慣れ、友達や周りの人たちと交流が広がる教材が設けられている。</p> <p>□「話すこと・聞くこと」では、「連絡」「紹介」「推薦」等を配置し、話題が広がり授業が交流の場となる教材が設けられている。</p> <p>□「書くこと」では、書くための基本的な技能を学ぶ機会を「メモの書き方」「文章のまとめ」「筋道を立てて」「表やグラフを使って」「レポートを書く」と系統立てて配列し、書く活動に活用する方法を主体的に学ぶように取り上げられている。</p> <p>□「読むこと」では、「読んだことから考える」ことを実感できるよう「学習のてびき」が設けられている。また、言語活動を通して学習者同士が高め合える「国語のカギ」などが提示されている。</p> <p>□伝統的な言語文化に、学習者が興味を持って活動できるように学年に応じて「声に出して読む」・「楽しむ」ことをキーワードに教材が設けられている。</p> <p>□神奈川県に関連することとして、神奈川県出身の児童文学者長崎源之助氏の「つり橋わたれ」が掲載されている。</p>		
構 成 分 量 装 丁	<p>□全学年、上下巻2冊の分冊で編集されている。</p> <p>□単元の終わりに「新しい漢字」「新しい漢字を読んでみよう」として漢字のまとめが示されている。</p> <p>□「この教科書は、環境に配慮した紙と植物油インクを使用しています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p>□新出漢字、新しく習う読み方などにマークが付けられている。</p> <p>□漢字の新出・読みかえ箇所と、上学年配当の未履修漢字等配慮を要する表記には、ふりがなが振られている。</p>		

《資料 I》

教科種目名【国語（国語）】

発行者の略称	三省堂	書名	小学生の国語／小学生の国語 学びを広げる
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>	<p>□教育基本法第2条に示されている「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に関連して、人間の生き方や社会へのかかわりについて考えさせる読み物や伝記などの教材が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない」ことに関連して、4年生以上に新聞やメディアを扱った「メディアについて考える」「メディアとの付き合い方」などの教材が取り上げられている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養う」ことに関連して、個に応じた学習を前提とし必要に応じて参照できる資料編「学びを広げる」が編集されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、身の回りの体験や発見を詳しく書き、まとめて発表したりする教材が取り上げられている。</p>		
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>	<p>□「たくましく生きる力」に関連して、料理の作り方を調べ、日本の食文化について考える「なべの国、日本」といった教材が示されている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、自己の生き方を考えられるように、偉人や著名人の伝記や物語「猿橋勝子」といった教材が取り上げられている。</p>		
<p>内 容</p>	<p>□学習者が発見したことを言葉にして伝え合えるように、1年上巻に「みつけた みつけた」が設けられている。</p> <p>□「話すこと・聞くこと」では、各学年「スピーチ」「声と身体」「説明・報告」「思考と表現のプラザ」「話し合い」の系列が教材として設けられている。</p> <p>□「書くこと」では、実生活の中で書く力や、相互に思考を深めながら課題を解決していく力を付けるために、各学年に「手紙」「生活文」「推薦文」「報告文」などの系列の教材が設けられている。</p> <p>□「読むこと」では、読書への誘いとして、2年生以上の学年で「あまんさんの部屋」や「読書の森」を設け、様々な本が紹介されている。</p> <p>□伝統的な言語文化に関連して、児童の日常生活、言語生活と結び付けられる教材が配列されている。</p> <p>□神奈川県に関連することとして、神奈川県出身の宇宙飛行士野口聡一氏や神奈川県に住んでいたことがある今西祐行氏の文章が掲載されている。</p>		
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>	<p>□2年以降は別冊の資料集「学びを広げる」を設け、教科書「小学生の国語」と二冊で編集されている。</p> <p>□巻頭には「この学年で学習すること」、巻末は『「覚えておきましょう」のまとめ』が掲載されている。</p> <p>□「この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。また、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用しています。」と表示されている。</p>		
<p>表記・表現</p>	<p>□単元名の上のイラストで、何の領域の学習かがわかるようにしている。</p> <p>□「学びを広げる」では、既習・未履修にかかわらず、ふりがなを付けて提示している教材が設けられている。</p>		

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（国語）】

発行者の略称	教出	書名	ひろがる言葉 小学国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<input type="checkbox"/> 教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う」ことに関連して、生物や自然保護を題材にした説明や報告の文章が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視」することに関連して、「読むこと」の教材の終わりや巻末に関連図書の紹介コーナーが設けられている。 <input type="checkbox"/> 学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養う」ことに関連して、学習の重点をまとめた「ここが大事」コーナーが随所に設けられている。 <input type="checkbox"/> 学習指導要領の教育内容の主な改善事項「伝え合う力を高める」ことに関連して、「くらべて発見しよう」といった「学び合い」教材が「考える力」「伝え合う力」を高めるものとして設けられている。		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<input type="checkbox"/> 「思いやる力」に関連して、命の大切さに触れる登場人物の心の交流を扱った「川とノリオ」といった教材が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」に関連して、互いのコミュニケーションが図られるように、発達の段階に応じた話し合いの活動がある「グループで話し合おう」といった教材が取り上げられている。		
内 容	<input type="checkbox"/> 中学校の学習に関連して、6年下巻に卒業を控えた子どもたちに、先達の生き方や言葉にふれる機会として「国語の学習 これまで これから」で、日野原重明氏の「君へ」が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 「話すこと・聞くこと」では発表内容を考えたり、発表し合ったりする際に、アドバイスや感想を述べ合うことで活動が深まる教材を設けている。 <input type="checkbox"/> 「書くこと」では文章の構成を考える過程では、アドバイスや感想の例を示し、発表・交流の場面では作品のよさを見つけるための着眼点を内容・表現の両面から示すように設けられている。 <input type="checkbox"/> 「読むこと」では課題に応じて読むことができるように、「何のために」読むのかを明確にし、今後の学習や他教科でも活用できることを目的として、巻末に「この本で学ぶこと」が設けられている。 <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実に関連して、昔から親しまれてきた言葉遊び等の小教材が各学年に設けられている。 <input type="checkbox"/> 神奈川県に関連することとして、6年上巻に神奈川県出身の俳人黛まどか氏の「薫風」が掲載されている。		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<input type="checkbox"/> 全学年、上下巻2冊の分冊で編集されている。 <input type="checkbox"/> 2年下巻「いなばのしろうさぎ」には、付録として活用できるように厚紙の紙人形がついている。 <input type="checkbox"/> 「環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。また、印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力をしようしています。」と表示されている。		
表記・表現	<input type="checkbox"/> 上の学年に配当されている漢字や常用漢字についてもふりがなを用いて表記されている。地名・人名にはふりがながつけられている。 <input type="checkbox"/> 新しく学ぶ漢字、新しい読み方を覚える漢字、特別な読み方の漢字がマークで示されている。		

《資料Ⅰ》

教科種目名【国語（国語）】

発行者の略称	光村	書名	国語
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する」ことに関連して、平和・環境・防災等を題材にして、命の大切さについて考える教材が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ことに関連して、学習意欲を高めるため、挿絵や写真を掲載している。また、4年生の点字見本は実際に触れることができる教材が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決する」ことに関連して、図・表・グラフや写真を用いた説明的文章を示し、「グラフや表を用いて書こう」が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成」することに関連して、学年の違いを考慮しつつ、繰り返し学習することで定着を図る単元が設けられている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p><input type="checkbox"/>「思いやる力」に関連して、他者の考えや思いを尊重する大切さを、身近な日常の場面から抜き出した「学級討論会をしよう」といった教材が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>「たくましく生きる力」に関連して、世界を意識して、日本人としての誇りや、責任感について考える「鳥獣戯画を読む」といった教材が取り上げられている。</p>		
内 容	<p><input type="checkbox"/>1年の上巻に、児童に出合っしてほしい言葉とともに、児童が友達や先生と触れ合う教材「さあ はじめよう」が配置されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「話すこと・聞くこと」では、2年以上の上巻冒頭に、学級活動の導入として言葉に親しみを持たせるために「言葉の準備運動」が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>「書くこと」では、「季節の言葉」「漢字の広場」といった教材で繰り返し書く活動ができるように設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>「読むこと」では、各学年に、本や読書生活について考える単元「本は友達」を設け、読書活動と読み物が関連して結び付くように設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>伝統的な言語文化に関する教材は、「季節の言葉」や「声に出して楽しもう」にそれぞれ設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>神奈川県に関連することとして、神奈川県出身の宇宙飛行士野口総一氏の「宇宙飛行士一ぼくがいだいた夢」が掲載されている。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p><input type="checkbox"/>4年までは上下巻の分冊、5年以降は1冊の合冊で編集されている。</p> <p><input type="checkbox"/>各学年巻末に、本単元の補充学習・発展学習での資料となる教材が掲載されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「この教科書は環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p><input type="checkbox"/>未履修の漢字や常用漢字についてもふりがなを用いて表記されている。また、教材ごとに初出時のみ、ふりがなが振られている。</p> <p><input type="checkbox"/>ユニバーサルデザインという観点から、用語解説や覚えておきたい知識などはマークで示されている。</p>		

《資料Ⅱ》
教科種目名【国語（国語）】

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

○教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	
東書	情報やメディアリテラシー、食育、安全、防災など多様な分野から教材が取り上げられている。
学図	情報を吟味検討する視点を持つ題材や、身近な人間関係の中にある「徳」に気づくことのできる題材が取り上げられている。
三省堂	豊かな情操や伝統文化を尊重する内容、培った知識・技能を確かめたり、広げたりできる内容が盛り込まれている。
教出	豊かな情操を養うことを意図し、鑑賞詩や情景や音読を通して情景やリズムを味わう文学作品が取り上げられている。
光村	豊かな情操と道徳心を養うよう、読み物教材について普遍的な課題と現代的な課題の両面から取り上げている。
二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	
東書	個性を大切にしながら豊かな創造性を培えるように、物語や詩などの制作、自分の考えの論述を扱う単元が随所に取り上げられている。
学図	学びと普段の生活が一体となる場を多く設定し、身近な話題や生活場面に即した学習活動が取り上げられている。
三省堂	全学年に共通の基本的な教材配列を設定し、発達段階や教材の連続性を考慮して学習の流れが組立てられている。
教出	生活からの発想や身の回りの環境への興味を活かす話題・題材が取りあげられている。
光村	コミュニケーション能力や豊かな心の育成を踏まえ、学習意欲を喚起し社会の形成者を育成する教材が取り上げられている。
三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	
東書	進んで社会に参画するように、身近な社会に関わったり、児童相互が交流したりする教材が取り上げられている。
学図	自然や環境などを中心として、社会的な問題を扱った教材が取り上げられている。
三省堂	人間の生き方や社会への関わりなどについて考えさせる読み物や伝記などの教材が取り上げられている。
教出	社会の一員として生活し、学校内だけでなく地域社会にも目を向けさせる教材が取り上げられている。
光村	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うように、人との関わり合いを題材にした教材が取り上げられている。
四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	
東書	環境問題に関わる内容の資料を読み、調べ方や情報の活用を考える教材が取り上げられている。
学図	自然を題材とした内容の文章を読み、自分の考えをまとめる教材が取り上げられている。
三省堂	魚や鳥を題材にした文章を読み、自分の考えをまとめ広げる教材が取り上げられている。
教出	生物や自然保護を題材にした説明や報告の文章が取り上げられている。
光村	平和・環境・防災などを題材にし、いのちの大切さについて考える教材が取り上げられている。
五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	
東書	「日本の言の葉」、「日本語のしらべ」など、我が国の言語文化に親しむ教材が設けられている。
学図	伝統的な言語文化が、「声に出して読む」・「楽しむ」ことをキーワードに設けられている。
三省堂	児童の日常生活と、日本の伝統的な言語文化とを結びつけられるように設けられている。
教出	「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の教材で文学作品や古典作品を取り上げている。
光村	日本文化の豊かさにふれる教材として「聞いて楽しもう」が位置づけられている。
第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。	
東書	学年冒頭に「国語の学習を進めよう」、全学年に「国語ノートの作り方」が設けられている。
学図	話題が広がり、意欲を高め、授業が交流の場となるような単元が設けられている。
三省堂	4年生以上に新聞やメディアを扱った教材が取り上げられている。
教出	「読むこと」の教材の終わりや巻末に関連図書の紹介コーナーが設けられている。
光村	学習意欲を高めるため挿絵や写真を掲載し、4年生の点字見本は実際に触れることができるように取り上げられている。

○学校教育法第30条の内容

第30条 ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	
東書	「言葉の力」「言葉の力のまとめ」で、日常生活での言葉の使い手を意識した教材が取り上げられている。
学図	学習者の自発的な学びを促すことをねらい、演習学習材や資料コーナーなどが設けられている。
三省堂	思考力・判断力・表現力を育み、主体的学びへと導くため、教科書と資料編「学びを広げる」の二分冊構成となっている。
教出	基礎・基本の言語技能を身に付けさせるために、「ここが大事」が設けられている。
光村	図、表、グラフ、写真を資料に用いた説明的文章を示し、「グラフや表を用いて書こう」が取り上げられている。

○学習指導要領の教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。	
東書	基礎・基本を習得し、身に付けた力を活用するため、多様な単元のねらいが設けられている。
学図	お互いの立場や考えを尊重し、学びの交流を通して互いに高め合い、言葉で伝え合う単元が設けられている。
三省堂	基礎的・基本的な言語技能の定着を図るために、2年以降の教材には「覚えておきましょう」が設けられている。
教出	「くらべて発見しよう」といった「学び合い」が、「考える力」「伝え合う力」を高めるものとして設けられている。
光村	学年の違いを考慮しつつ、繰り返して学習する事で確実な定着を図れるように単元が設けられている。

○学習指導要領の教育内容の主な改善事項に関連する内容

言語活動の充実	
東書	「言葉の広場」では、実際に生きて働く言葉の運用力を身につけられるように設定されている。
学図	単元に設定した目標に沿い、「しっかり読んで、しっかり考える」活用力の定着をめざす「てびき」が設けられている。
三省堂	言語の基礎を培う低学年では動作化しながら理解できる物語教材、相手に伝えることで喜びが深まる教材を配置している。
教出	「言葉をふやそう」では、説明、発表、話し合いのときに使う言い方を学べるように設定されている。
光村	手引き学習が2段組みで構成され、上段は学習観点を下段は言語活動の手順が示されている。
伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統的な言語文化を学ぶ単元として「日本の言の葉」が、各学年に2か所設けられている。
学図	各学年で伝統的な言語文化を「声に出して読む」「楽しむ」ことにつながる教材が設けられている。
三省堂	児童の日常生活、言語生活と日本の伝統的な言語文化とを結び付けられるよう工夫されている。
教出	昔から親しまれてきた言葉遊び等の小教材が各学年に設けられている。
光村	全学年に、民話・昔話の読み聞かせ教材「聞いて楽しもう」を位置づけている。
道徳教育の充実	
東書	互いの考えや意見を理解し合い、共に生きていこうとする心情を育てる教材が取り上げられている。
学図	家族や家庭を題材にし、登場人物の心の交流を扱った教材が取り上げられている。
三省堂	生命や自然・環境について考えが深められるような教材が取り上げられている。
教出	他者とのかかわりを通して自分の生き方を考えるための教材が取り上げられている。
光村	命の大切さや生命の尊厳について考えるために、戦争や平和について扱った教材が取り上げられている。
体験活動の充実	
東書	経験したことや観察したことを、書いたり話したりする教材が取り上げられている。
学図	自らの体験を基にレポートや新聞、報告文などで、他者に紹介する教材が取り上げられている。
三省堂	身の回りの体験や発見を詳しく書き、まとめて発表したりする教材が取り上げられている。
教出	学校での体験活動を題材に、様々な形で報告する文章を書く教材が取り上げられている。
光村	身近なものを観察したり、発見したりしたことを、記録・報告する教材が取り上げられている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

[思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育など)	
東書	いのちの大切さや生命の尊厳について考える「海のいのち」といった教材が取り上げられている。
学図	福祉や人権に関心を持ち、思いやる心をはぐくむことにつながるような点字を扱った教材が掲載されている。
三省堂	平和に寄与する態度を養うように、人間の生き方について考える教材が取り上げられている。
教出	いのちの大切さをはぐくむように、登場人物の心の交流を扱った教材が取り上げられている。
光村	身近な日常の場面から他者の考えや思いを尊重した教材が取り上げられている。
[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 (公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)	
東書	コミュニケーション能力を高めるために、話し合いの活動を取り上げたり「言葉の力」のコーナーを設けたりしている。
学図	コミュニケーション能力の向上が図れるように、段階を追って言葉で伝える活動が取り上げられている。
三省堂	料理の作り方を調べ、日本の食文化について考える教材を設けている。
教出	互いのコミュニケーションが図られるように、発達段階に応じた話し合いの活動が取り上げられている。
光村	世界を意識して日本人としての誇り、責任感について考える教材が取り上げられている。
[社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。 (生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)	
東書	自分たちの住む町を調査したり、町づくりについて提案したりする「町の幸福論」といった教材が取り上げられている。
学図	異なる習慣や文化を持つ人との共生を図るために、外国の民話や文化を題材にした教材を取り上げている。
三省堂	自己の生き方を考えられるように、偉人や著名人の伝記や読み物が数多く取り上げられている。
教出	身近な自然や社会との関わりを通して、児童相互が交流しながら考えを深める教材が取り上げられている。
光村	自然や人とのふれあいを扱った教材や、自己の成長をふり返る文章を書く教材が取り上げられている。

3 内容

		調査研究項目	一言語活動例の教材数	東書	学図	三省堂	教出	光村
A	話すこと・聞くこと	1・2年	事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること	3	4	2	3	2
		1・2年	尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりすること	3	2	2	2	2
		1・2年	場面に合わせてあいさつをしたり、必要なことについて身近な人との連絡をし合ったりすること	2	3	1	2	2
		1・2年	知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること	3	2	3	3	2
	3・4年	出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること	5	3	2	4	1	
		学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること	1	2	2	2	2	
		図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること	2	1	1	3	2	
	5・6年	資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること	2	1	2	3	0	
		調べたことやまとめたことについて、討論などをする	2	3	1	3	2	
事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること		1	2	2	1	1		
B	1・2年	想像したことなどを文章に書くこと	2	3	2	4	1	
		経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと	5	4	6	5	6	
		身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと	2	3	1	2	2	
		紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること	3	1	1	6	1	
		伝えたいことを簡単な手紙に書くこと	1	2	1	2	1	
	3・4年	身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること	7	4	3	5	2	
		疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること	2	3	3	2	3	
		収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと	1	1	1	3	1	
		目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと	3	2	3	1	2	
	5・6年	経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること	13	5	5	8	13	
		自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること	2	3	4	4	4	
		事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと	2	2	1	3	1	
C	1・2年	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと	6	4	8	12	10	
		物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること	4	3	1	2	5	
		事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと	7	5	6	6	3	
		物語や科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと	1	2	2	1	4	
	1・2年	読んだ本について、好きなどころを紹介すること	2	1	3	5	2	
	3・4年	物語や詩を読み、感想を述べ合うこと	5	6	13	12	11	
		記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること	2	1	2	2	3	
		記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと	5	4	1	4	2	
		紹介したい本を取り上げて説明すること	1	2	1	2	2	
		必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと	1	1	2	1	1	
	5・6年	伝記を読み、自分の生き方について考えること	1	1	2	2	1	
		自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること	2	1	1	2	3	
		編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと	2	0	0	1	1	
		本を読んで推薦の文章を書くこと	1	2	1	4	2	

調査研究項目		東書	学図	三省堂	教出	光村		
伝統的な言語文化	1・2年	昔話や神話・伝承などの教材数	3	4	3	3	4	
	3・4年	短歌・俳句などの教材数	9	2	2	6	11	
		ことわざや慣用句、故事成語などの教材数	4	2	1	2	3	
	5・6年	古文や漢文、近代以降の文語調の文章などの教材数	2	6	8	8	5	
		古典について解説した文章の教材数	2	5	4	6	4	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1・2年	言葉の働きに気付くこと	2	2	2	3	2
			音節と文字の関係、アクセントによる語の意味の違いに気付くこと	3	1	2	1	1
			意味による語句のまとまりに気付くこと	4	3	5	4	1
			長音、拗音、促音、撥音の表記、助詞の「は」「へ」「を」に関すること	4	4	6	5	8
			句読点の打ち方や（「」）を正しく使うこと	2	1	3	3	3
主語と述語の関係に注意すること			2	1	2	3	2	
敬体で書かれた文章に慣れること			1	1	2	1	0	
3・4年		言葉の働きに気付くこと	1	5	1	2	2	
		漢字と仮名を用いた表記などに関心をもつこと	2	2	0	0	0	
		送り仮名に注意して書き、活用について意識をもつこと	2	2	1	2	1	
		句読点を適切に打ち、改行して書くこと	0	3	2	1	0	
		語句の性質や役割について理解すること	1	5	1	1	1	
		辞書の利用や調べる習慣を付けること	2	2	8	2	2	
		修飾と被修飾の関係について理解をもつこと	1	1	1	2	1	
5・6年		指示語や接続語の役割を理解し、使うこと	3	2	2	1	2	
		話し言葉と書き言葉の違いに気付くこと	1	1	0	1	1	
		時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと	3	2	1	3	2	
		送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと	0	2	2	3	1	
		語句の構成、変化についての理解、語句の由来に関心をもつこと	2	7	4	6	3	
		語句と語句との関係を理解すること	1	2	1	1	1	
	語感、言葉の使い方に対する感覚に関心をもつこと	2	3	3	4	3		
文するに事項	1・2年	文や文章の構成を理解すること	1	2	1	1	5	
		敬語の使い方に慣れること	1	2	2	3	2	
	3・4年	比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと	2	2	1	2	2	
		平仮名及び片仮名を読み、書くこと	3	3	11	8	11	
		ローマ字について読み、書くこと（3年）	2	2	2	1	2	
5・6年	へん、つくりなどの構成について知識をもつこと	1	5	2	4	2		
	仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること	1	8	2	4	3		

調査研究項目		東書	学図	三省堂	教出	光村	
実生活との関わりをもつ教材	日常生活に関連した教材（手紙、新聞等）数	1・2年	10	2	1	4	6
		3・4年	7	4	7	3	2
		5・6年	2	7	7	6	3
他教科との関連を図った教材	グラフや図表をかく教材数	1・2年	0	1	0	1	0
		3・4年	4	7	4	4	4
		5・6年	2	6	5	5	1
多様なジャンルを扱った教材	文学的文章の教材数	1・2年	17	15	22	13	12
		3・4年	11	14	23	10	7
		5・6年	11	13	23	7	9
	説明的文章の教材数	1・2年	11	12	5	4	9
		3・4年	10	14	7	6	8
		5・6年	10	11	10	6	14
発展的な学習内容の取り扱い	読書に関する教材数	1・2年	184	24	88	170	92
		3・4年	189	111	115	123	138
		5・6年	260	109	128	144	126

調査研究項目	東書	学図	三省堂	教出	光村
伝統的な言語文化について取り上げられている主な教材	<ul style="list-style-type: none"> ・むかしばなしをよもう① ・言いつたえられているお話を知ろう② ・むかし話をしようかいしよう② ・俳句に親しもう③ ・わらい話を楽しもう③ ・百人一首④ ・竹取物語・平家物語・奥の細道・枕草子⑤ ・論語・十七条の憲法・世阿弥の花鏡⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> ・うみのみずはなぜしよっぱいか① ・ヤマダノオロチ② ・言葉のリズムを感じてみよう(俳句)③ ・言葉から風景を想像しよう(短歌)④ ・言葉の文化に親しもう(古文)⑤ ・狂言「盆山」・漢詩「尋胡隱君」⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いなばの白うさぎ① ・かさこじぞう② ・ききみみずきん③ ・声に出して読もう(俳句)③ ・「読書の森」星取り(古典)/いろは歌/竹取物語・じゅげむ④ ・短歌・故事成語の物語④ ・狂言「しびり」⑤ ・漢文・短歌を作る⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> ・天にのぼったおけやさん① ・「いろは」をしろう・かさこじぞう・いなばのしろうさぎ② ・俳句に親しむ③ ・短歌の世界・故事成語・そろそろあ(落語)④ ・漢文に親しむ⑤ ・竹取物語・平家物語・伊曾保物語・附子・枕草子・徒然草・おくのほそ道・坊っちゃん・杜子春⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> ・おむすびころりん・まのいりょうし① ・いなばの白うさぎ・三まいのおふだ② ・短歌・俳句③ ・短歌・俳句④ ・竹取物語・平家物語・徒然草・おくのほそ道・論語・春暁⑤ ・天地の文⑥

4 構成・分量・装丁

	東書			学図			三省堂			教出			光村		
	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年
ページ数	562	524	588	260	608	1030	506	556	604	580	610	636	544	686	568
総ページ数	1674			1898			1666			1826			1798		
23年度版との比較	-58			202			-364			32			138		

5 表記・表現

	東書			学図			三省堂			教出			光村		
	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年	1・2年	3・4年	5・6年
ルビ振りの漢字の出現数	594	3507	2878	1728	3762	3912	1418	5917	10381	621	2159	3067	156	2006	1274
総ルビ数	6979			9402			17716			5867			3436		
23年度版との比較	5686			7079			17013			4146			2188		